

友愛こうら

甲良町老人クラブ連合会発足50周年記念号

発行 甲良町老人クラブ連合会

祝50周年：みんなでつくろう”私たちの老人クラブ”



甲良町長 北 川 豊 昭

創立五十周年にあたって

甲良町老人クラブ連合会が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。貴連合会は昭和40年に創立されて以来、激変する社会情勢の中にありながら、高齢者の友愛活動や健康づくり活動、社会奉仕活動や世代間交流事業など、社会に多大なる貢献をされるとともに、甲良町の発展に寄与されてこられました。歴代の会長様、会員の皆様の熱意とご努力に、改めて敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

これからの社会は、高齢者の多様な社会参加を推進するとともに、互いに助け合い、励まし合いながら、楽しみを共有し、長寿の喜びを実感できる社会や人間関係を築き上げていくことが大切と考えております。

近年、地域のコミュニティが大きく変わろうとする今、老人クラブの活動は高齢化時代の地域を支える重要な役割

を担っていただけるものと大いに期待しております。

甲良町といたしましても、第六期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画において、「住み慣れた地域で安心して健康に暮せる環境づくり」を基本目標とし、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの整った地域づくりを進めています。

引き続き貴連合会の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、甲良町老人クラブ連合会がこの50周年という大きな節目を契機に、さらに連携の絆を深められ、「地域の力」「高齢社会の担い手」として大きく飛躍されることをご期待申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。



祝五十周年に寄せて
甲良町議会議長 建 部 孝 夫

甲良町老人クラブ連合会の発足50周年を迎えられまして誠にめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

今年は、戦後70年、町制60年の節目の年にあたりまして、喜びもひとしおですが、感慨深いものがございます。

「少子高齢化時代」と言われて久しい今日、「人口減少問題」が大きく取り上げられ、「地方創生」が急を要する最重要課題になりました。

甲良町の5年前の人口7500人が、25年後には3965人と急減し、町が消滅の危機にあると報じられました。

それには、①出産可能若年女性の増加すなわち、女兒がたくさん産まれることが望まれています。②生を受けた方は、でるだけ、生涯にわたり町に住んでいただきたいと思ひます。そして、③今、住んでおられる方が、健康で長生きしていただくことだと思います。

とりわけ、①高齢者が生活

に意欲を持ち、積極的に社会貢献すること。また、②高齢者とその家族が安心して生活ができること。そして、③誰もが長寿を喜び、活力が維持される社会をつくることです。

私たちは、その条件・環境を整備・改革しなければならぬと思っています。

同時に、そのような社会実現には、老人クラブ会員の皆様の奮起とやる気に、期待するところ大きいものがございます。「自ら開拓する」の心境です。

このことから、老人クラブ連合会の「和(輪)」を広め、「連帯」を深めて、益々の発展を希うものがございます。

終わりに、各老人クラブの役員の方々には、何かとご心労の多いことは存じますが、クラブ連合会の発展のため、益々ご健健でご活躍くださいますようお願い申し上げます。まして結びにいたします。

町老ク連発足五十周年記念に思う 自分たちで創り上げていく 私たちの老人クラブ

甲良老人クラブ連合会 会長

上野 善久

混住社会の中において変貌する集落の新体制の下での組織維持活動には計り知れない苦勞があり、最大のエネルギーをかけておられると強く感じた。その上で、さらに地域夜警見回り活動や子どもの見回り活動を推進されていることに感銘を受けた。

比較して我々は、古来集落体制の中で、文化、伝統の継承も疎かにしつつあり、新規事業への取り組みには二の足を踏まなければ前進できないといった気力の減退と日々平穩で危機感のない感覚に陥っているように思えた。甲良町には、今、大きな危機が迫っていると思う。『町の消滅』『限界集落』……今、町民は、そして、老人クラブは、なにをすべきかを真剣に考えなければならぬ。

今年度理事である F 氏が先進地交流研修会後に書かれた記録の一部を紹介させていただきました。

昭和二十九年、県下に先駆けて老人クラブ結成の動きを始めて十年余、昭和四十年すべての集落の老人クラブがそろい発足した甲良町老人クラブ連合会。沿革史を見ますと、事業が起これるとその後には力ツコ書きで、『以後継続事業とする』と記されています。五十年という歴史の中で築き

あげられてきた重みを、今、思います。そして、冒頭述べられているように、高齢者を取り巻く課題だけでなく、地域の今日的課題をしつかり踏まえ、継承とさらなる発展を図る事業展開をしていかなければならないと考えます。

こうした五十周年という節目の年に、私たちが本部役員をさせていただいている光栄とともに、その責任の重さを今強く感じているところであります。

老人クラブの基本理念である『生きがい・健康・仲間・地域づくり』を基盤に、今日的課題と高齢者の実態をふまえてねらいを明確にして事業展開をしていきたいと考えます。会員様お一人お一人のお力を結集して、やってみたい・やってよかったと思われる楽しく活動していくクラブをつくりあげていきたいと思ひます。

会員様はじめ町民の皆様のご理解とお力をよろしくお願ひいたします。

50 周年記念の年の本部役員



祝 発足五十周年

甲良老人クラブ連合会

前会長 田中 猛



世のため人のためという発想から真の豊かさを。一度人生計画を建てたら目的に向ってひたすら努力することは大切なことです。

甲良町老人クラブ連合会の設立は昭和四十年四月一日から始まり、今年は五十周年を迎えるお目出度い記念すべき年と成り三大運動の『健康』楽しい運動で心もからだも健康に転倒予防するからだづくりを、また、男性の料理

教室。『友愛』では単位クラブで女性部長さん友愛協力員さん等が中心となつて家庭訪問をされており、『奉仕』では、各字毎に役員さんが中心となつて清掃作業をこまめに奉仕されています。

本町老ク連は殆ど全員加入に近い状態で堅持され、相互支援の輪を広げ、次世代育成の支援にもつなげて戴きたいと思ひます。設立五十周年を契機に、仲間づくり 健康づくり 生涯づくり

『思ひ出』

甲良町老ク連発足五十周年におもう

甲良老人クラブ連合会

前副会長 宮田 鈴子



甲良町老人クラブ連合会発足五十周年を、心からお祝ひ申し上げます。

私は、平成十五年に入会後、さまざまな行事に参加し、数多くの思い出をいただきました。なかでも、平成十八年頃から認知症について勉強する機会をいただきました。認知症の人への効果的な支援や、住み慣れた地域で生活を継続するためには、どのような生活支援・サービスが必要なのかを

考えることがだいじになってきます。そして、その家族を支える地域支援事業やサービス拠点についての情報収集が不可欠であります。

こうしたことを皆さんに伝えることを目的に、町老ク連女性副会長として甲良町キャラバンメイトのみなさんとともに寸劇『もしも認知症になったら』をつくりあげ、甲良町老人クラブ大会で演じさせていただきました。身近

を目的とする老人クラブの原点に立ち返り、高齢者の世紀にふさわしい魅力あるクラブづくりに向けて、さらに飛躍発展されますようご祈念申し上げ、お祝ひの言葉とさせていただきます。

長寿の詩

宮崎東名作

白髪 漸く交ゆ還暦の寿
古希獲得して更に欣然
齢い喜来に昇るは天恵に依る
遂に是歡び迎う百歳の年

閑雲詩吟文化協会 滋賀詩吟上師範田中幸昭謹書

な暮らしの中で知っておいてほしい内容を、わかりやすく、笑いを誘いながら皆さんにお見せ出来たらという思いで、参加させていただきました。恥ずかしながらも今となっては、大変よい思い出となつて残っています。

私は、今年八十歳を迎えます。大切なことは、やはり、『健康』そして、『支え合い』です。日頃から老人クラブで交流や声かけの機会をもつことで、明るく、楽しい日々を過ごしていると実感しております。今後ますます老人クラブ連合会が、その存在意義を高めていってくださることを願ひ、お祝ひの言葉といたします。

50年の重みをだいに、これからの老人クラブをみんなで創る 『甲良町老ク連 一年の事業の構想・展開』

生きがいきづくり〈高齢期の充実〉

健康づくり〈健康寿命を伸ばす〉

《老人クラブの基本理念》

仲間づくり〈同世代の連帯・支え合い〉

地域づくり〈社会貢献〉

高齢者のくらしの
充実に向けて、4つの基本理念を軸に
事業を構想 参加者を増やす活力ある老人クラブを
みんなで作る

連合会の女性リーダー
女性委員（代表と委員）会
議・生活文化クラブ活動
単クの女性部長と友愛協
員で構成する委員会・会
員増強参加促進の要
生活文化クラブのリーダ
ー的存在として会員を増や



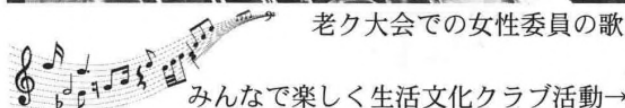
50周年の年の理事・本部役員(28名)

**単クのリーダーで
構成する連合会の中枢**
理事会（年八回の会議）
老ク連事業の牽引役
単クの会長・連合会と単
クをつなぐ要
部会の構成（保健体育
部・文化研修部・広報
部・企画部）

楽しむ
老ク連唯一の趣味同好教
養の会（生活文化クラブ
活動）の活性化を図る



老ク大会での女性委員の歌



みんなで楽しく生活文化クラブ活動→



楽しむ
老ク連唯一の趣味同好教
養の会（生活文化クラブ
活動）の活性化を図る

**やってみるとおもしろい
仲間と新競技に
挑戦して若返り**
ニュースポーツ講習・大会



町スポーツ公園でさわやかな風を受けて熱戦

健康・仲間と楽しむ
グラウンドゴルフ大会
（春・秋二回）（五月・十月）
参加者二〇〇名をめざして!!
初心者大歓迎……高齢者の
和やかな大会
ラッキー賞奮発!!

**高齢者の幅広い
生涯学習の場**
老壮大学（年間八回開講）
くちよっぱり高い教養・
豊かな自分づくり

**高齢者だからこそ
味わえる一味違う旅で
ちよっぱり自分を豊かに!**
会員親睦一泊旅行
『ゆっくり ゆったり 和
やかに』をテーマに、年齢を



字別対抗団体戦で行います

（ディスコンと公式ワナゲ）
単位クラブ対抗団体戦
予選リーグ戦で慣れて、
決勝トーナメント（順決定
戦）で勝負!

越えて愉しむバス旅行。こ
こで何年振りかの同窓会も
行われています。



見学・体験、楽しい一泊二日の旅

先進地で学び、
自分たちを見つめなおす



理事先進地交流研修会

会員加入促進と若手会員の
積極的な事業参加を課題に
始まった先進地に学ぶ会。
事業の充実、単位クラブの
活性化、そして、単クと連合
会の連携や融合・老ク活
性化の重要事業をつくり
ます。



みんなでつくりだす老人クラブを求めて

奉仕作業を通して
ボランティア活動を学ぶ



友愛・奉仕精神を具体化していきます

甲良養護学校訪問・奉仕活
動(作業)

地域の県立学校：障害者理
解・友愛活動により深みを
つける

多くの会員の交流
前を向いて歩む

甲良町老人クラブ連合会

『老人クラブ大会』

ご長寿を称え、クラブ育成
功労者や介護篤行者に感謝
と敬意を。

大勢集まって老ク連活動の
節にして、次への飛躍をつ
くりだす楽しいひととき。



老ク連最大の事業～町あげての行事にしていきたい～

地域・広域での
交流の場です

愛大地区老人クラブ大会や滋
賀県老人クラブ大会への参加

会員ならだれでも参加でき
ますが、理事及び女性委員
がリーダーとして代表で参
加しています。事例発表も
あります。



会場になるとクラブの特技を披露します

一品くらいはお料理も！

男性の料理教室

初めてエプロンをする人か
ら、マイ包丁のさばきの鮮や
かな人まで。

だれでも参加できます。 balan
ス考えた食事学べます。



『やってみるとできますね。うまそうですね。』

編集後記

50年前といえば、私たちは、仕事
のおもしろさや責任感をおぼえ必
死で取り組んでいました。その頃
甲良町老人クラブは発足したので
す。

今年度発足50周年を迎えまし
た。この節目の年に、今の青少年が
会員となる50年後までも互いが健
康で尊重し合い、助け合い、平和な
高齢者のくらしが続いていくよ
う、私たちは今活動していかなく
ればならないと考えます。

発足50周年であるということ
特別な事業はしませんが、ささや
かではあります。『友愛こうら・
特別号』を発行して残り、今年度事
業すべてにその思いを込めて開催
していきたいと考えています。

町長・北川豊昭様はじめ議会議
長建部孝夫様、歴代会長代表と副
会長代表として田中猛様、宮田鈴
子様にお祝いの言葉をいただきました。
ありがとうございます。

高齢化社会がすすむにつれ、高
齢者の暮らしの実態も大きく変わろ
うとしています。課題も多く提示
されてきています。老人漂流社会
といわれ、高齢者にとって厳しい
状況もすでに浮かんでいます。本
年度理事研修記録に、『今、老人ク
ラブは何をなすべきか。これから
どうあるべきかを考えなければなら
ない』と記された方がおられまし
た。会員お一人お一人は勿論のこと、
町民の皆様も老人クラブ、
高齢者に対して深いご理解とお力
をお貸しくださいますようお願い
いたします。(編集委員)